

予 算 要 求 資 料

令和5年度6月補正予算 支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名【新】新型コロナウイルス感染症患者外来対応医療機関設備整備費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 感染症対策推進課 検査対策係 電話番号：058-272-1111(内3349)

E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 433,339 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	433,339	433,339	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更に伴い、現在コロナ患者の診療に対応している外来対応医療機関(※)については引き続き対応を求めつつ、新たにコロナ診療に対応する医療機関については、広く一般的な医療機関が多くのコロナ患者を診療できる環境整備を進めていく必要がある。

(※)従来、コロナ患者の診療に対応していた「診療・検査医療機関」は、5類移行後「外来対応医療機関」に名称変更。

(2) 事業内容

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に十分対応し、同感染症の疑い例を、診療体制等の整った医療機関に確実につなぐため、新型コロナウイルス患者を診療した実績がある外来対応医療機関が行う感染防止対策等のための設備整備に対し、支援を行う。

設備の種類	補助上限額
HEPAフィルター付空気清浄機	1施設当たり 905,000円
HEPAフィルター付パーテーション	1台当たり 205,000円
個人防護具	医療従事者1名当たり3,600円
簡易ベッド	1台当たり 51,400円
簡易診察室及び付帯備品	実費相当額

(3) 県負担・補助率の考え方

国10/10（新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を活用）

(4) 類似事業の有無

令和2年度 感染症外来協力医療機関施設・設備整備費補助金

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	433,339	外来対応を行う医療機関の設備整備に対する補助
合計	433,339	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う医療提供体制及び公費支援の見直し等について（令和5年3月10日新型コロナウイルス感染症対策本部決定）

(2) 国・他県の状況

国は位置づけ変更後においても、必要となる設備整備に対する補助は引き続き実施することとしている。各都道府県はこれを受け、支援の検討をすることになるが、近県（愛知県、三重県、静岡県）では、全ての県が対応する方向で検討している。

(3) 事業主体及びその妥当性

国が定めた新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金交付要綱に、都道府県の補助事業であることが定められている。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更により、これまでのコロナ診療に対応している医療機関については引き続き対応を求めつつ、新たにコロナ診療に対応する医療機関を増やしていくことにより、広く一般的な医療機関がコロナ対応できる環境を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

これまででも対応機関の拡大に取組み、全国的にも高い達成度となっていることから改めての設定は行わない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p>
令和3年度	<p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p>
令和4年度	<p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない

(評価)

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3:期待以上の成果あり
2:期待どおりの成果あり
1:期待どおりの成果が得られていない
0:ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている

(評価)

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

これまでコロナ対応してきた医療機関に引き続き対応を求めるとともに、新たな医療機関に参画を促すための取組を進める必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント

又は事業名及び所管課

【〇〇課】

組み合わせる理由
や期待する効果 など